

倶多楽の火山活動解説資料（平成27年8月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図1、図2-①）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図2-②）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図2-③）

GNSS連続観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。



図1 倶多楽 南南西側から見た日和山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況
（8月21日、414m山遠望カメラによる）

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号 平26情使、第578号)。

次回の火山活動解説資料（平成27年9月分）は平成27年10月8日に発表する予定です。

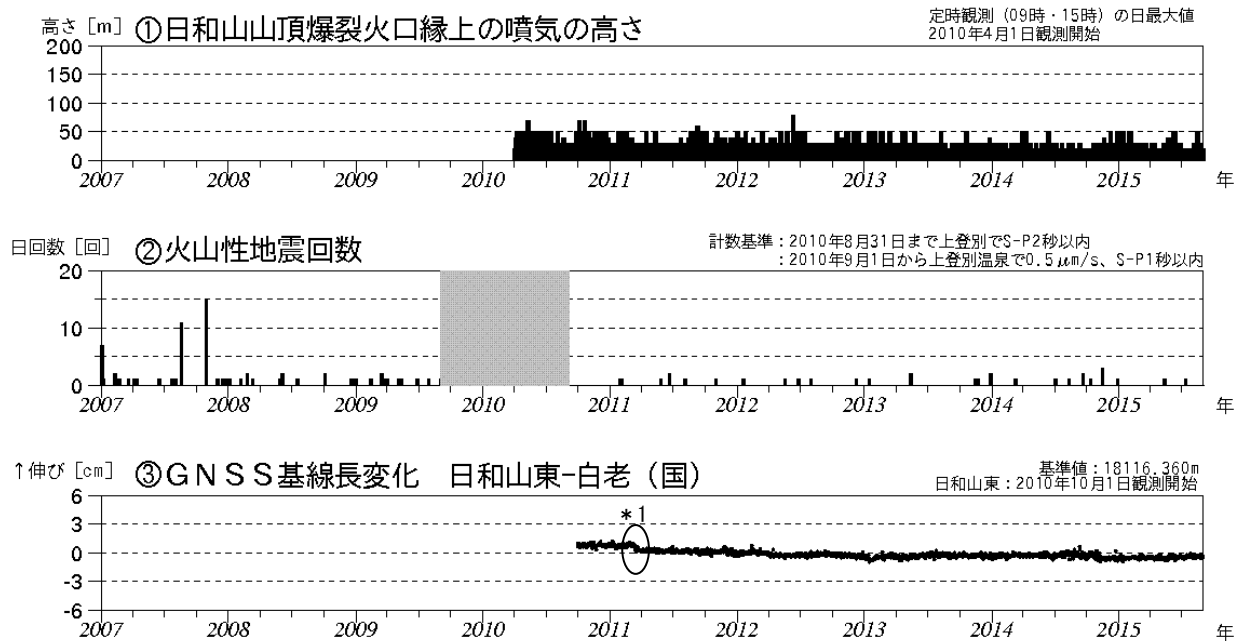


図2 倶多楽 火山活動経過図（2007年1月～2015年8月）

- ・②の灰色の期間は機器障害による欠測を示します
- ・③のGNSS基線は右配置図の基線に対応しています
- ・（国）：国土地理院

*1：楕円内の変動は、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません

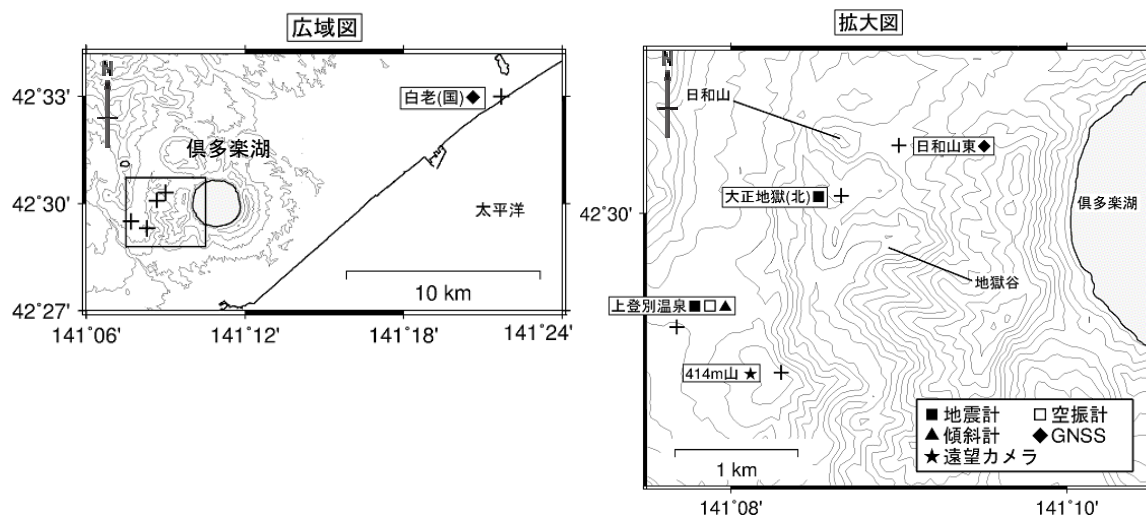
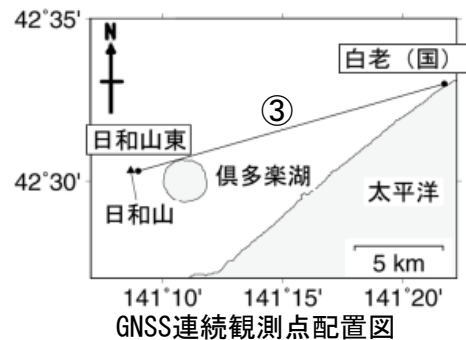


図3 倶多楽 観測点配置図

広域図内の口は拡大図の範囲を示します

+印は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

（国）：国土地理院

（北）：北海道大学